

※資料に関するお問い合わせ先

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

Tel 0742-22-4463(直通) Fax 0742-22-7221

令和元年 12月6日
奈良国立博物館

特別陳列

おん祭と春日信仰の美術

—特集 春日大社にまつわる絵師たち—

On-Matsuri and the Sacred Art of Kasuga
Painters Associated with Kasuga Taisha

プレスリリース

[1] 会 場 奈良国立博物館 東新館

[2] 会 期 令和元年 12月7日(土)～令和2年 1月13日(月・祝)

休 館 日 毎週月曜日、1月1日。ただし 12月30日、1月13日は
月曜ですが開館します。

開館時間 午前9時30分～午後5時

※金・土曜日は午後8時まで(12月28日は午後5時まで)

※12月17日(火)は午後7時まで

※入館は閉館の30分前まで

[3] 主 催 奈良国立博物館・春日大社・仏教美術協会

[4] 観覧料金 一 般 520円(410円)

大 学 生 260円(210円)

※()内は以下の料金です。

① 責任者の引率する20名以上の団体

② 親子割引 [子ども(高校生以下および18歳未満の方)と一緒に観覧される方]

③ レイト割引 [開館時間延長日の午後5時以降に観覧される方]

- ※ 高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料です。
- ※ この観覧料金で、同時開催の特別陳列「重要文化財 法隆寺金堂壁画写真ガラス原板」（西新館）、名品展「珠玉の仏教美術」（西新館）、特集展示「新たに修理された文化財」（西新館、12月24日より開催）、名品展「珠玉の仏たち」（なら仏像館）、「中国古代青銅器」（青銅器館）もご覧になれます。
- ※ 春日若宮おん祭お渡り式の日（12月17日）はどなたでも無料で観覧できます。
- ※ 令和2年1月2日（木）～5日（日）に春日大社境内にて本展の無料観覧券を配布いたします。

[5] 展示件数 52件

[6] 展覧内容

春日若宮おん祭は、春日大社の^{せっしゃ}摂社である若宮社の祭礼で、平安時代の保延二年（1136）に始まったとされ、今年で884年目を迎えます。おん祭では、若宮神が御旅所に一日だけ遷座されますが、そこに芸能者や祭礼の参加者が詣でる^{ふりゅう}風流行列が有名です。

本展覧会はおん祭の歴史と祭礼を展示し、あわせて春日大社への信仰に関わる美術を紹介する恒例の企画です。本年は、春日大社にまつわる絵師を特集し、中世から近世にかけてさまざまな絵師によって描かれたおん祭の祭礼図を紹介するとともに、同じ頃、春日大社の御^{そうたい}造替にかかわった絵師にスポットをあてます。

[7] 主な出陳品 ※写真は後掲

1. 鹿島立神影図 二条英印筆 1幅 (奈良 春日大社)
2. 探幽縮図 春日若宮祭礼絵巻 1巻 (京都国立博物館)
3. 春日社御造宮所々画用彩色帳(天保13年) 1冊 (奈良 春日大社)
4. 獅子狛犬粉本 2枚 (奈良 春日大社)
5. 唐獅子牡丹図 1面 (奈良 春日大社)
6. 重要文化財 春日宮曼荼羅 1幅 (奈良 南市町自治会)
7. 重要文化財 春日浄土曼荼羅 1幅 (奈良能満院)

[8] 公開講座

12月21日(土)「春日大社にまつわる絵師たち」

北澤 菜月(当館学芸部主任研究員)

時間：午後1時30分～3時(開場午後1時)

会場：当館講堂

定員：194名

聴講無料

※12時から講堂前にて、入場整理券を配布します(先着順、お1人様につき1枚)。

※入場整理券の受取の際には、本展の観覧券もしくはその半券、奈良博プレミアムカード等をご提示ください。

※入場受付は講座開始後30分で終了いたします。

[9] 問い合わせ先

奈良国立博物館 〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)

電話 ハローダイヤル 050-5542-8600

ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>

〈交通案内〉近鉄奈良駅下車徒歩約15分

またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から

市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

【主な出陳品】

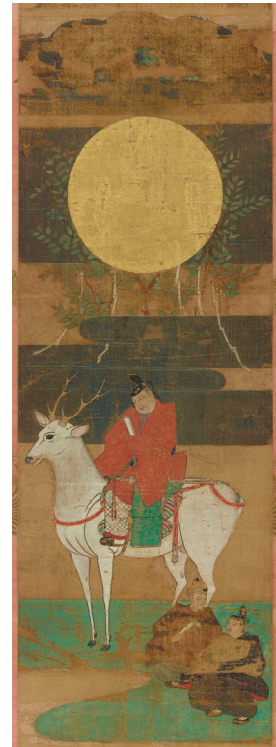
1. ^{かしまだちしんえいず}鹿島立神影図 二条英印筆 1幅 (奈良 春日大社)

〔出陳番号1〕

絹本著色

南北朝時代 永徳3年(1383)

春日大社本殿の第一殿の神さまである ^{たけみかづちのみこと}武甕槌命が、鹿に乗って春日の地に ^{ようごう}影向したという伝説に基づく絵画。^{しくぎ}軸木にある墨書から、^{にじょうえいじん}二条英印という絵師が描いたことが分かる。



2. ^{たんゆうしゆくず}探幽縮図 ^{かすがわかみやさいれいえまき}春日若宮祭礼絵巻 1巻 (京都国立博物館)〔出陳番号11〕

紙本墨画淡彩

江戸時代 寛文11年(1671)

探幽縮図は ^{かのうたんゆう}狩野探幽(1602~74)が目にした様々な絵画を略筆で写し取ったもの。本巻は前半に若宮社、^{おたびしよさい}御旅所祭、お渡り式の行列が描かれている。類例のない ^{ずよう}図様で縮図ながら貴重。



(部分)

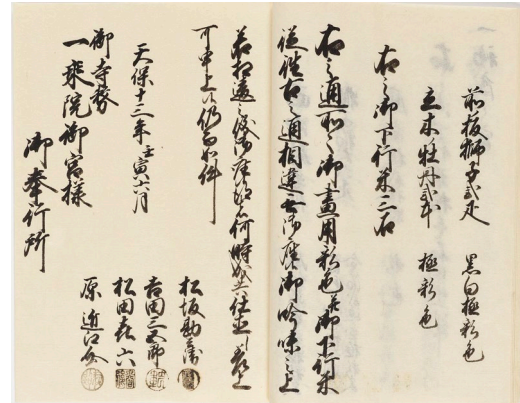
3. 春日社造宮所々御画用彩色帳 (天保13年) 1冊 (奈良 春日大社)

〔出陳番号 31〕

紙本墨書

江戸時代 天保13年 (1842)

春日大社の御造替 (式年造替) の際、様々な画事を担当した春日絵所がまとめた用務一覧とその対価を記すいわば見積書。末尾には春日絵所仲間4名の連署があり、京都の絵師である原在照 (近江介) の名が含まれている。



4. 獅子狛犬粉本 2枚 (奈良 春日大社) 〔出陳番号 33〕

原家伝来

紙本著色

江戸時代 (19世紀)

近世後期に春日絵所をつとめた京都の原家に伝来した御造替に関わる粉本の一つ。御造替時には社殿の獅子・狛犬の表面彩色も絵所の仕事であった。



5. ^{からじしほたんず}唐獅子牡丹図 1面 (奈良 春日大社)〔出陳番号 42〕

大坪正義筆

絹本著色

昭和5年(1930)

春日大社本殿の第2殿と第3殿の^{おあいけい}御間塀
(社殿の間をつなぐ板塀)に描かれる図の、
昭和5年の写し。この年の^{ぞうたい}御造替の際に
^{えどころあずかり}絵所預として和田貴水とともに画事を担
った^{おおつぼまさよし}大坪正義の手によるもの。



6. ^{かすがみやまんだら}重要文化財 春日宮曼荼羅 1幅 (奈良南市町自治会)

〔出陳番号 45〕

絹本著色

鎌倉時代(13世紀)

春日宮曼荼羅として現存最大の偉容をほこるとともに、細部まで丁寧に描きこまれた傑作。
江戸時代初めには、奈良市内の^{みなみちちよう}南市町春日講
の^{ほんぞん}本尊であったことが分かる。



7. 重要文化財 かすがじょうどまんだら 春日浄土曼荼羅 1幅 (奈良能満院)

〔出陳番号 49〕

絹本着色

鎌倉時代 (13世紀)

下半分に春日社景、上半分に諸仏の浄土を描く珍しい構成の春日曼荼羅。春日社本殿の三宮からは雲が伸び、三宮の本地仏である地蔵菩薩じぞうぼさつが一人の僧を浄土へ導いている。

